

### 印西市自転車の

## 安全・安心利用に関する条例を制定

平成 24 年 9 月議会定例会で議員提案による「印西市自転車の安全・安心利用に関する条例」が、可決・成立し、平成 25 年 4 月 1 日から施行されます。

この条例は、環境に優しく、身近な交通手段である自転車の安全で安心な利用を促進するため、自転車利用者の運転意識や自転車損害保険などの加入率の向上、自転車車を安全・快適に利用できる環境の整備および自転車に起因する事故の未然防止を図ることを目的としています。

このほか、事業者の役割、関係団体などの責務、自転車ヘルメットの着用推進、利用環境の向上および自転車安全利用のための計画策定などが定められています。

#### 安全利用の順守事項

「自転車安全利用五則」は、自転車の安全な利用に関する意識の啓発、自転車の点検整備の促進、自転車損害保険などへの加入の勧奨、乗車用ヘルメットの普及など必要な施策の実施、また「自転車

（自転車安全利用五則ほか）  
●自転車は、車道が原則、歩道は例外  
●車道は、左側を通行  
●歩道は歩行者優先で、車道寄りを行  
●安全ルールを守る  
●飲酒運転は禁止

自転車整備不良が事故につながります。また、自転車事故でも高額な損害賠償事件が発生しています。定期的な点検と保険の加入

### 自転車安全利用五則

**1 自転車は、車道が原則、歩道は例外**

道路の構造上、自転車は車道に通行が認められています。したがって、歩道・車道の区別が不明なところでは原則として歩道を通行してください。

**2 車道は、左側を通行**

自転車は道路の左側を通行し、歩道は歩道の左側を通行してください。

**3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを行**

歩道は歩行者の通行が優先です。歩道に歩行者がいる場合は、歩道寄りを行ってください。

**4 安全ルールを守る**

●飲酒運転は禁止  
●安全ルールを守る  
●飲酒運転は禁止

**5 子どもはヘルメットを着用**

児童・幼児（13歳未満）の保護者は、児童・幼児に自転車用ヘルメットを着用させるよう努めます。

### 運転者の遵守事項に関する主なルール

罰則 → 5万円以下の罰金

**傘差し運転等禁止**

傘差し運転、傘を折りたたみ傘にしながらの運転は禁止されています。

**携帯電話等使用禁止**

運転中に携帯電話（スマートフォン）を使用することは禁止されています。

**ヘッドホン等使用禁止**

ヘッドホン（イヤホン）の使用は禁止されています。

### 自転車の利用に関する注意

**ノーブレーキヒストについて**

ブレーキが壊れている自転車は、道路を走行してはなりません。

**自転車で白炭酸増加!**

自転車の走行による白炭酸の発生は、道路の汚染の原因となります。

### 内野小学校が 全日本小学校ホームページ大賞で大賞受賞!

今年十回目を迎える「J-IK IDS大賞2012（全日本小学校ホームページ大賞）」で、全

今年十回目を迎える「J-IK IDS大賞2012（全日本小学校ホームページ大賞）」で、全

今年十回目を迎える「J-IK IDS大賞2012（全日本小学校ホームページ大賞）」で、全

### 三年連続応募点数県下一位 社会を明るくする運動作文コンテスト

「富田万尋（本塾第二小5年）」「あじさの大切さ」  
●教育長賞：小川菜奈（木刈小5年）「言葉の力」  
●警察署長賞：山下龍元（小林北小6年）「いじめについて」（敬称略）

※詳しくは左記まで。  
☎社会福祉課厚生班（☎内線2542256）



▲各入賞作品の受賞者のみなさん(左から伊藤花奈子さん、富田万尋さん、小川菜奈さん、山下龍元さん)。印西市は全体の応募作品 13,843 点のうち 1,689 点の応募があり、前々年度から引き続き、応募作品数は、千葉県内でも一番でした。

### T Sマーク で安心に運転

自転車安全整備店で自転車安全整備士が自転車を点検・整備（有料）し、安全が確認されたマーク。このマークが貼られた自転車には、傷害・賠償責任保険が付加されています。

除加入に努めましょう。  
行政、市民、自転車利用者、事業者、関係機関が協力して自転車の交通事故を防止しましょう。  
☎市民安全課市民安全班（☎内線712）。

### 有価物集団回収団体に 奨励金を交付します

市では、ごみの減量化、資源化の促進を図ることを目的とした有価物集団回収奨励金交付事業を実施しています。

資源として再利用できる有価物（紙類・布類・ビン類・金属類）を継続的に収集し、回収業者に売却する町内会や子ども会などの地域団体に対して、回収量に応じて 1 kg につき 6 円の奨励金を交付する内容となっています。登録をしていただき、ごみの減量化、資源化にご協力をお願いします。

詳しくは、下記までお問い合わせください。  
☎クリーン推進課クリーン推進班（☎内線381）。

# お知らせ

凡例 隔日時 会場 内容 対象 定員 参加費 申し込み 問い合わせ ホームページ メールアドレス その他 携帯帯電話

## 講座・催し

### 自然探検隊「源頼政伝承の里を歩く」

源頼政伝承の里を歩き、自然や巨木を探します。  
3月16日(土)・午前9時30分～正午。  
原則、市内在住・在勤の人。20人程度。  
100円(保険料)。  
筆記用具、水筒、あれば双眼鏡、ルーペ持参。  
3月11日(月)(当日消印有効)までに、はがき、FAXもしくはメールに①参加申し込みをする自然探検隊のタイトル②住所③参加者全員の氏名・年齢・職業(学年)④連絡先電話番号を記入し、左記まで(集合場所などは後日連絡いたします)。  
7001396 印西市大森2364-1 3 市内線365・FAX 7242・kankyoukaka@city.inzai.lg.jp)

### 異文化理解講座

外国人との共生社会を実現するため、日本と異なる文化や習慣などを理解するための講座を開催します。興味のある人はご参加ください。  
3月15日(金)・午後2時～3時30分。  
印市小・中学校に勤務するA

### 第8回市民活動だんまつり

市内、近隣の市民活動団体のお祭りを開催します。展示のほか、屋台や販売、パフォーマンなどが盛り沢山。人気講座の体験コーナーの参加者も募集します。ぜひ足を運んでください。  
3月9日(土)・午前10時～午後4時、10日(日)・午前10時～午後3時。  
※10日(日)は展示のみ。  
中央駅前地域交流館2号館(中央南)。  
体験コーナー、クイズ、ゲーム、演舞、活動紹介のパネル展示、綿菓子・ポップコーン・コーヒの屋台、野菜や手作り雑貨の販売など。  
【ベビーマッサージ体験者を募集】  
3月9日(土)・午前11時～正午、午後1時～2時。  
3月15日(金)・午前11時～正午、午後2時～3時。  
その保護者。  
午前・午後とも各6組。  
バス・タオル、赤ちゃんの飲み

### 高年齢者就労支援センター「植木管理基礎講座」

無料講習会  
3月12日(火)・14日(木)・午前9時～正午(予備日は近日を予定)。  
3月17日(日)【教室】午後5時～6時50分【利用認定会】午後7時～8時50分。  
松山山下公園総合体育館メインアリーナ。各20人。  
申し込みの際、印鑑が必要。  
2月18日(月)～3月10日(日)の間開会できる人。  
15人。  
2月28日(木)までに、電話で左記へ(先着順)。  
高齢者就労支援センター(4050)。  
調理実習講習会  
簡単でおいしいメニュー楽しく作って献立のレパートリーを増やしましょう。

### スポート

クライミング教室・利用認定会  
松山山下公園総合体育館メインアリーナクライミング施設で、クライミング教室と利用認定会を実施します。  
クライミング施設の利用は、利用認定証取得者のみです。詳しくは市ホームページまたは各公民館、出張所にあるチラシをご覧ください。  
3月17日(日)【教室】午後5時～6時50分【利用認定会】午後7時～8時50分。  
松山山下公園総合体育館メインアリーナ。各20人。  
申し込みの際、印鑑が必要。  
2月18日(月)～3月10日(日)の間開会できる人。  
15人。  
2月28日(木)までに、電話で左記へ(先着順)。  
高齢者就労支援センター(4050)。  
調理実習講習会  
簡単でおいしいメニュー楽しく作って献立のレパートリーを増やしましょう。

### 環境

環境省の通知により、まきを燃料利用した灰は、放射能濃度の安全性が確認された場合を除き、市町村などが一般廃棄物として収集・処分することとされています。  
まきストーブなどを使用した際に発生する灰の取り扱い  
環境省の通知により、まきを燃料利用した灰は、放射能濃度の安全性が確認された場合を除き、市町村などが一般廃棄物として収集・処分することとされています。

### そのほか

公益信託印西市まちづくりファンド応募団体相談会  
3月22日(金)までに、電話で左記へ(先着順)。  
0408、伊藤(2914)。  
3月14日(木)・午前9時30分～午後4時30分。  
文化ホール(大森)。  
相談を希望する団体は、事前に千葉銀行法人営業部まで。  
※制度概要など詳しくは、3月1日発行予定の「応募の手引き」をご覧ください。「応募の手引き」は千葉銀行法人営業部・印西支店・千葉ニュータウン支店・印西牧の原支店のほか、市役所市民活動推進課、各支所・公民館・コミュニティセンター・福祉センター、市民活動支援センターに設置。  
千葉銀行法人営業部公益信託担当(043130118037)【制度に関する問い合わせ】市民活動推進課市民活動支援班(市内線345)。

## 防災メール

このメール配信サービスは、どなたでも利用することができますが、あらかじめ『利用者登録』が必要になります。なお、登録は無料ですが、『利用者登録』および『登録解除』の際の通信料、メールの受信、WEB閲覧にかかる費用は、利用者の負担になります。  
【防災メール『利用者登録』手順】  
利用する通信機器から下のアドレスに「空」メールを送信してください。  
QRコードも利用可  
b@inz.171k.jp  
※利用者登録手順および配信する内容の詳細については、市ホームページ(http://www.city.inzai.chiba.jp)に掲載。  
防災課防災班(市内線454)。

## 文化ホール情報

文化ホール展示コーナー「市民招待席」  
エンタランスホールの展示コーナーを、みなさんの趣味や特技を活かして素敵な空間にしてみませんか。  
●展示期間：前期分として4月～9月末日のうち2週間程度。  
●市内に住所のある個人または団体(営利目的は除く)。  
●市内に住所のある個人または団体(営利目的は除く)。  
●状況に応じて展示日の調整を行います。

## 芸術文化発表会「ローコンサート」出演者募集

芸術文化活動をしているみなさんに、文化ホールのホワイエを発表の場として開放します。  
●実施日：毎月1回程度(前期分として4月～9月末日)。日時：出演者と協議。  
●市内に住所のある個人または団体(営利目的は除く)。  
●2月28日(木)までに、所定の申込用紙(文化ホール、各公民館、総合福祉センター、保健福祉センター、そうふけふれあいの里に用意)に必要事項を記入し、文化ホールまで提出してください(応募多数の場合は協議で決定)。  
●※ジャンルは問いませんが、同施設内に図書館があるため、制限があります。

防災行政無線音響調査に伴う試験放送を実施します  
防災行政無線の音響調査のため、音響調査の試験放送を左記のとおり実施します。該当地区のみならずには大きな音が出るなどご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。  
2月18日(月)～3月4日(月)・午前9時～午後4時(土・日曜日を除く)。  
印西地区(本埜地区、印旛地区を除く)。  
詳しくは左記まで。  
防災課防災班(市内線452・454)。

募集

非常勤の給食調理員

木下小学校の学校給食を作る給食調理員を募集します。
●勤務日：原則として小学校の給食実施日(19日)
●勤務時間：平日・午前8時～午後4時
●雇用期間：4月1日～平成26年3月31日
●応募方法：2月28日(木)までに、履歴書(写真張り付け)と資格を証する書類の写しを左記まで郵送または持参。
●選考方法：書類審査および面接。
●賃金：時給820円～880円(経験年数による)。
●通勤手当あり。
●3月1日(金)までに、履歴書(自筆で写真張り付け)を左記まで提出。
●園高花学校給食センター管理班(☎1748)。

消費生活相談員(非常勤特別職)

市では、消費生活に係る相談および苦情の処理などに関する業務を行う消費生活相談員を募集します。
●勤務時間：毎月第2、第4水曜日・午前9時～午後3時ごろ。
●募集します。
●公用車を使用して、行政依頼配布物(回覧物など)を各町内会などに配達する非常勤職員を募集します(配布物の量により、力仕事を伴う場合あり)。
●勤務時間：毎月第2、第4水曜日・午前9時～午後3時ごろ。

●応募資格：消費生活専門相談員、消費生活アドバイザー、消費生活コンサルタントのいずれかの資格を有し、パソコンの基本的操作ができる人。
●任期：4月1日～平成27年3月31日。
●報酬：日額9,600円。
●勤務日：原則、週1日～2日。
●勤務時間：午前9時30分～午後4時30分(休憩・正午～午後1時)。
●応募方法：2月28日(木)までに、履歴書(写真張り付け)と資格を証する書類の写しを左記まで郵送または持参。
●選考方法：書類審査および面接。
●賃金：時給820円～880円(経験年数による)。
●通勤手当あり。
●3月1日(金)までに、履歴書(自筆で写真張り付け)を左記まで提出。
●園高花学校給食センター管理班(☎1748)。

行政依頼配布物を配布する非常勤職員

公用車を使用して、行政依頼配布物(回覧物など)を各町内会などに配達する非常勤職員を募集します(配布物の量により、力仕事を伴う場合あり)。
●勤務時間：毎月第2、第4水曜日・午前9時～午後3時ごろ。

●配布物の状況により、配達の有無、終了時間が前後する場合があります。
●時給：830円(通勤手当あり)。
●普通免許を有し、おおむね65歳以下の健康な人。
●3月1日(金)(必着)までに、履歴書(写真張り付け)を左記まで郵送または持参。
●書類選考後、簡単な面接を行う場合あり。
●市民活動推進課市民活動支援班(〒270-1396印西市大森2364-2・☎内線344)。
●平成25年度内閣府青年国際交流事業
内閣府では、日本と世界各国の青年との交流を通して、相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を身に付けた次代を担うにふさわしい青年を育成するため、青年国際交流事業を実施しています。
●募集内容：①国際青年育成交流②日中、日韓青年親善交流③東南アジア青年の船④青年社会活動コアリーダー育成プログラム

有料自転車駐車場の定期使用申請の受け付け開始

3月1日(金)～31日(日)の平日・午前6時～11時、午後4時～9時(土・日曜日、祝日は午前8時～正午)。
●使用期間：4月1日～平成26年3月31日。
●記入済みの申請書・住所が分

●要件：詳細は、内閣府のホームページ(http://www.cao.go.jp/koryu/)または千葉県環境生活部県民生活課のホームページ(http://www.pref.chiba.lg.jp/kennin/kenzenkusei/h24-nai-kakufu.html)をご覧ください。
●募集期間：2月5日(火)～3月15日(金)。
●希望者に募集要項を送付します。なお、募集要項などは内閣府ホームページからもダウンロードできます。
●千葉県庁県民生活課子ども若者育成支援室(☎043-223-2288・FAX043-201-2613)。

「いんざい」市議会だより」の1面に掲載する写真を募集

平成25年第1回市議会定例会の会期は2月18日(月)～3月22日(金)の予定です。なお、会期中に休会日があります。開催日については、事前に左記まで。
●園議会事務局(☎内線607)。

みなさんのご意見をお寄せください
印西市文化芸術の振興に関する基本方針(素案)の市民意見公募
市の文化芸術の振興を図るための基本方針について、市民のみなさんの意見を公募します。
●素案閲覧場所…生涯学習課、中央駅前地域交流館、各公民館・図書館。市ホームページでも閲覧できます。
●市内に在住・在勤・在学する人。
●2月28日(木)(当日消印有効)までに、住所・氏名・連絡先を必ず明記し、下記まで持参。または郵便・FAX・メールで提出。閲覧場所にある意見回収箱への投かんでも可。
※必要事項が明記されていないものは無効。なお、応募に要する諸費用は応募者本人の負担です。
●生涯学習課生涯学習文化班(〒270-1396印西市大森2364-2・☎内線544・FAX☎0033・syougaku@city.inzai.lg.jp)。

有料自転車駐車場の定期使用申請の受け付け開始
3月1日(金)～31日(日)の平日・午前6時～11時、午後4時～9時(土・日曜日、祝日は午前8時～正午)。
●使用期間：4月1日～平成26年3月31日。
●記入済みの申請書・住所が分

有料自転車駐車場の使用料
居住区分 使用区分 使用料(年間1台につき)
市内 一般 5,250円 7,350円
高校生以下 2,625円 3,675円
市外 一般 10,500円 14,700円
高校生以下 5,250円 7,350円

●ミニ・ガイド
●スポーツダンス中央メンパー募集
●西歴史愛好会会員募集
●家族短期入所事業
●家族短期入所事業
●家族短期入所事業

議 会
傍聴しませんが
平成25年第1回市議会定例会の会期は2月18日(月)～3月22日(金)の予定です。なお、会期中に休会日があります。開催日については、事前に左記まで。
●園議会事務局(☎内線607)。

ミニ・ガイド
●スポーツダンス中央メンパー募集
●西歴史愛好会会員募集
●家族短期入所事業
●家族短期入所事業
●家族短期入所事業

木下地区で2つのひな祭り
◆木下万葉公園前に今年もビッグひな人形(高さ5mの桃の花も登場!)
昨年「木下を元気に!」をテーマに、木下万葉公園南側・特設会場にビッグひな人形(全長3～6m)を4体設置します。
早春の万葉公園に咲く50本の河津桜とともに鮮やかに彩られたひな人形を見に、ご家族でお越しください。木下夢探訪主催。
2月24日(日)～3月9日(土)。
木下万葉公園前(国道365号線竹袋交差点北側。駐車場完備)。
◆歴史をつなぎ～街中と人～をつなぐ
木下を元気に「町家・ひなまつり」恒例の町家ひな祭りが開催されます。七段飾りや、お茶席など楽しいひと時を昔ながらの町家で過ごしてみませんか。
3月2日(土)・午前10時～午後3時ごろ。
●雨天決行。
●「国登録有形文化財・岩井家住宅主屋」(JR木下駅北口150m)。
●無料。
●駐車場はありませんので、各種公共交通機関をご利用ください。
●いづれも詳しくは下記まで。
●岩井(☎090-2525-0559)。



文芸コーナー

印西市のマスコットキャラクター

『いんざい君』誕生秘話



広報レポーター：瀧田 昭 造 (滝野)

市のマスコットとして活躍中の「いんざい君」。彼の誕生に先立ち、平成23年5月に公募を開始。610点の作品が全国から寄せられ、「いんざい君」が最優秀賞となりました。「いんざい君」は「コスモスの日」といわれている9月14日生まれ。赤色のサイのお父さん、白色のサイのお母さんから生まれ、市内の探検とお昼寝、自然の中でのんびりするところが好きな推定5歳の男の子です。この「いんざい君」の生みの親、小林あゆみさんに「いんざい君」誕生までの秘話を



このキャラクターも、最終選考に残った10作品の中にノミネートされていました。「広報いんざい」平成23年10月15日号に掲載参照。しかし「もつと」「印西」の名前をアピールするためにキャラクターを作ろう」と考えた小林さん。「そう考えた時、すぐに『印鑑を持ったサイ』が頭に浮かびました。それが今のいんざい君の姿です」とのこと。この瞬間に「いんざい君」が誕生したのです。

現在、市ホームページで公開中の「いんざい君の絵本」も手がけている小林さん。いんざい君本人には「たくさんイベントなどに参加して、たくさんの人たちとふれあって、もつと



▲生みの親である小林さん(左)といんざい君



▲いんざい君はどのイベント会場でも人気者。常に人だかりが絶えません

リサイクル情報広場

掲載情報は1月30日現在  
園クリーン推進課クリーン推進班(管内線383)

- ◆ゆずります情報 (有料の物は希望価格)
①食器洗い乾燥機(家庭用)②パンツプレス③インクジェットプリンタ用インク7色(1千円)④ハイローベット&チェア(800円)⑤パストロンボーン(6万円程度)⑥電子レンジ(4千円)⑦プリンター用インク(2個で1千円)⑧小林中学校学生服、長袖とYシャツ(ズボン200円・Yシャツ300円)⑨巻き革(牛革・1千円)。
◆さがしています情報
①大森小学校男子体操服②ピアノ(アップライト)③印西中学校の女子用制服と運動着④しおん幼稚園男児、女児用ジャージ、男児、女児用体操服(大きめサイズ希望)⑤天神幼稚園男児、女児制服、ブラウスなど⑥犬用乳母車の「ベビーカー」⑦補聴器。
※詳しくは市ホームページをご覧ください

毎月5日は「ノーレジ袋デー」です。お買い物にはマイバッグを持参しましょう。

短歌

加藤恵美子選

九十に四年と迫る生日を過ぎずくやく賀状したたむ
児童らの合唱を聴く体育館窓に裸木の影が伸びゆく
幼き日焚付けなりし杉の葉の軽き感触なつかしみ踏む
木下 服部 富枝
木刈 道見 優子
今ほもう煎餅蒲団は死語となりダウンとムートンに包まれ眠る
高花 田中 兵作
口もとの囁りが母に似てゐると三面鏡のわが顔をみる
草深 清田すみ江
俳句
田口 三石選
木刈 渡辺 敏子
童腹寺 五十嵐栄子
日脚伸ぶ富士に沈む日ゆつたりと
滝野 柴田 里子
若人のひた駈ける道初日の富士
大森 小林 八重
買い物や北満冬に飢えし日々
大塚 廣島 直之

〈短歌・俳句をお寄せください〉
一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。

施設がらと

千葉ニュータウン中央駅



広報レポーター：現玉園 秀志 (原山)

「ふるさとの訛りなつかし停車場の人ごみの中にそれを聴きに行く」
石川啄木が詠んだころの「駅」は、地方の訛りが交わさ



▲千葉ニュータウン中央駅の外観

れ、望郷の念を癒やしてくれる場所だったのでしょうか。故郷に思いをはせる「駅」という場所は、時代の流れとともに姿を変え、今では「駅ナカ」など新しい姿へ変わっています。今回は、そんな市内の駅の一つ、北総線の「千葉ニュータウン中央駅」(中央南1-1390-1)を取材させてもらいました。取材では、駅務区長(駅長)の大須賀さんと北総鉄



▲大須賀駅務区長(左)の案内で施設を見学。バリアフリー対応もしっかり成されています

道企画室の古屋さんにお話を伺いました。同駅は、昭和59年3月に開業。現在、一日約32,000人の利用者数を誇ります。中央駅圏内は住宅以外に商業施設やビジネスビルなどのほかにも用途別の空き用地が多くあるので、今後の乗降客数は、まだまだ増えていく勢いです。一昨年の東日本大震災では、駅舎の壁などに多少の被害は出たものの、殆ど影

響はなかったようです。また北総線全線の線路も被害はなく、震災の次の日にはほぼ通常の運行ができたとのこと。大災害にも関わらず、被害が最小限に止まった基幹的ライプラインの北総線は、誇るべき鉄道なのだと思えてきました。この堅固な北総線は、駅長さんをはじめ各駅の駅務員や24時間体制で線路の維持管理をしている保線区の人、車両基地で電車の点検業務をしている人たちなど、たくさんの方の手によって運営されているので、わたしたちは安心して利用できます。この当然のことに多くの方の労力や時間などが費やされている事実を、今回の取材で改めて実感させられました。



▲踏み外し防る模様がAEDが安全な部分に安全な工夫も

駅長さんたちが、小・中学生の見学会や職場体験などの後で受け取るお礼の手紙には「明日への力強いエネルギーの素になり、さらなる安全第一で運航することに気持ちを引き締まる」とお話ししてくださいました。また「駅を利用していただくみなさんへの『もてなしの心』を研ぐため、接遇研修も徹底して行っています」と、わたしの心に響く言葉をいただきました。
(☎463711)